



# SSKS

## 療育ねっとわーく川崎

2017年9月20日発行  
No.202 (2800部)  
NPO法人  
療育ねっとわーく川崎  
発行者 江川 文誠  
編集者 谷 みどり

# 歌フェス

## & 映画上映会

「みなさんのおかげで人生バラ色」の著者! とうや さよこ  
まつらら あけみ  
松浦明美×東野醒子  
歌弾B K Y U 看板女優!  
スペシャル対談!

どなたでも参加できます!  
特にお申込みは必要ありません。  
直接会場にお越しください

ご家族の方たちがグループホームを立ち上げるといえるのは、素晴らしいですね。グループホームは、その人らしい暮らしを実現する場です。ご本人のことをよくわかっているご家族が、立ち上げるのは意味があります。

新しくグループホームを作るには、川崎市への申請が必要です。年に一回年度新設ホーム等の募集が一月頃にあります。その時には、建物が決まっていなくてはならないので、まずはホームの物件探しが必要ですね。重度重複障害の方が入れられる場合、バリアフリーであることやリフター等の設置も必要となるので、そのような建物を探るか、改修するか、新たに建てるかになります。

新設等される場合は、川崎市から一定限度内の補助が出ます。

ホームを新設する場合、消防法などに規定され、入居者の状況によって、スプリンクラーや自動火災報知設備の設置が必要になります。リフトの設置についても、個人の居室



Q 24歳で重度重複障害のある娘の母。娘は生活において100%介助が必要です。現在は日中の通所と自宅での入浴介助をお願いしていますが、それ以外はほとんど私が世話をしています。この先の生活を考えると、グループホームなどを見学してきましたが、24時間介助が必要な重度障害や、まして医療ケアが必要な場合は入れる所は皆無です。見学先でお話を聞くとスタッフの不足、特に夜間の宿泊は大きな問題のようですし、賃金に関してはとても労働に見合っていないと感じました。数年前にお母さんが立ち上げたホームがありますが、その後、引き続き続く場所ができません。大きな法人が検討してくれないかとは思いますが、娘に合ったホームを自分達で作りたいと感じます。何をどこから始めればいいのか、教えてください。

の場合は、やさしい住まい等住宅改修の制度や日常生活用具の制度を利用できますが、浴室など共同利用の場所は、事業所負担になります。いづれも、かなり高額な費用を準備する必要があります。これらのことが、重度障がい者のホーム設立を遅らせているのではないかと思います。

次に、ホームの体制です。現在グループホームには、従来からある介護サービス包括型と、外部サービス利用型があります。外部サービス利用型は、入居者の身体介護等を外部(同一法人も可)のヘルパーに委託するものです。ただし、介護サービス包括型であっても、重度の障がい者であるなど要件を満たしていれば、個別のヘルパー派遣が認められています(詳細は3頁参照)。

ご心配の通り、介護職の給与水準が低いこともあり、人材確保が厳しいです。特に宿泊を伴う介護の場合、就労する人も限られます。現在の報酬体系では、十分な給与保障ができません。そういった中、厚生労働省の報酬改定の検討では、30年度から、「重度対応型共同生活援助」を新設することも考えられています。

最後に、入居されるご本人の準備も必要です。少なくともご本人がホームをイメージされているかどうかは、とても重要なことだと思っています。そのためには、ホームでの体験入居やショートステイ等で、家族と離れて暮らす体験をされることをお勧めします。新設予定の「重度対応型」のホームには、ショートステイの部屋を置くことも設置基準になっています。(谷)

### 歌フェス出演者

10:45~12:30 (10:00開場)

**LiveLifeHouseROND!**  
生活介護メンバーは音楽を聴くのも演奏するのも大好きです。昨年より、音楽療法の時間も開始し、更に音楽が身近なものになりました。昨年児童デイのお子さんたちと一緒にクリスマス発表会にも参加させていただきました。ハンドベルで「we wish your merry christmas」を演奏しました。今年度は雰囲気ガラリと変え、「sing sing sing」の合奏に挑戦です。JAZZYな演奏をお楽しみください。

**KANEKO BAND**  
誰がどんな風に参加するか、何も縛りのない、とても自由でゆる〜いバンド。  
他のバンドのようにメンバー全員が同じ立場ではないからこそ、職員と当事者の垣根なく、みんなで力を合わせて演奏します。そして当日は、出演者とみなさん、大人と子どもなどあらゆる垣根無く一緒に楽しみましょう!

**歌正**  
有友正隆(ボーカル&ギター)と村松シヨウタロー(ギター&コーラス)の二人からなる弾き語りロックデュオ。子どもから大人まで全ての人を巻き込んでしまう! 老若男女障がいの有無国籍の違いもノープロブレム! 「歌馬鹿」ロック二人衆、その名は「歌正」! お楽しみあれ!

**フラワーバタフライ**  
フラワーバタフライは、れいんぼう川崎の仲良し3人で20年前に結成した歌のグループです。メンバーは、リーダーのフェアリーとトーク担当のセイとしっかり者の薫です。カバー曲とオリジナル曲で活動中!

### 上映作品

開場は上映時間の30分前となります。

🎬 第1部 12:45~14:30  
**うまれる**

🎬 第2部 15:00~16:40  
**さとにきたらええやん**

🎬 第3部 18:30~20:15  
**うまれる**

魂が写し取る感動の104分  
**うまれる**  
ナレーション つるの剛士  
企画・監督・撮影 兼田トモ

子ども大人も集まる みんなの「さと」  
**さとにきたらええやん**  
監督・撮影 重江良樹

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」一人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー  
「さと」と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子、そして親や大人たちも休憩できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として育ち続けてきました。  
本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちを密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子ども大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながら立ち向かう姿を伝えています。

## 2017.11.1(水)

会場 多摩市民館 大ホール  
川崎市多摩区総合庁舎 2階  
(JR登戸駅から徒歩10分)  
(小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩5分)

主催: 特定非営利活動法人 療育ねっとわーく川崎 TEL:044-930-0160 (谷・前田) / 後援: 川崎市・川崎市教育委員会 / 神奈川県教育委員会

入場無料  
親子部屋あります

会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond  
TEL 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/  
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎  
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

### 今月号の目次

1	こんなときどうするの.....
2	障害者差別解消法当事者から.....
3	重度訪問介護とは.....
4	お知らせ.....
5	リフター体験会.....
6	Rondに遊びにおいて.....
7	ウエルフェスのお知らせ.....
8	私の人生バラ色.....

(本誌5・6・7・8面は会員のみに郵送)

のり  
紀さんの制度情報

# 重度訪問介護とは



## 重度訪問介護とは

障害者総合支援法による制度で、重度の障害(区分4以上)があり常に介護を必要とする人を対象に、入浴や排泄、食事などの介護、調理、洗濯や掃除など生活全般にわたる援助、外出時の介護などを総合的に行なう。サービスを受ける時間は自治体が決定する。利用者の自己負担(所得額に応じて減免)以外の費用は国や自治体が負担する。という介護サービスの一つです。

## 対象者の拡大

障害者自立支援法(2006年度施行)では、重度訪問介護の対象は重度の肢体不自由者のみ。知的障害者・精神障害者には「行動援護」という制度がありましたが、外出時のサポートが中心で利用時間の上限も8時間と、日常的な生活支援を求める利用者にとっては不十分なものでした。

障害者総合支援法(2013年度施行)の改正を境に、2014年4月以降は知的障害者・精神障害者を加えた3障害が対象となりました。

### <重度訪問介護の対象者>

重度の肢体不自由者又は重度の知的障害若しくは精神障害により行動上著しい困難を有する障害者であって、常時介護を要する障害者

具体的には、障害支援区分が区分4以上であって、下記のいずれかに該当する者

- ・(1) 二肢以上に麻痺等がある者であって、障害支援区分の認定調査項目のうち、「歩行」、「移乗」、「排尿」、「排便」のいずれもが「支援が不要」以外に認定されている者
- ・(2) 障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等(12項目)の合計点数が10点以上である者

## 訪問先の拡大(入院中に重度訪問介護を利用できる)

2018年度より「最重度の障害者であって重度訪問介護を利用している者」に対し、入院中の医療機関においても、利用者の状態などを熟知しているヘル

パーを引き続き利用し、そのニーズを的確に医療従事者に伝達する等の支援を行うことができることとした。」ということになりました。入院中でも重度訪問介護が使えるというのは、良いことなのですがいろいろと条件がつきそうですので、正式な条件が出たらお知らせいたします。

## 広がらない重度訪問介護

重度訪問介護について簡単に説明しました。重度訪問介護という制度は柔軟な対応ができて良い制度なのですが、行なっている事業所が非常に少ないのです。どういうことかと言うと、重度訪問介護は24時間介護を3人交代=8時間で行うという考え方が基本になっていて、稼働時間が少ないと事業所に入る単価が減っていくというややこしい制度設計になっているのです。単純に言ってしまうと単価が低いので行う事業所が少ないのです(ロンドは行なっています)。ですので基本単価が上がらないと、重度訪問介護は広がっていかないのです。

## グループホームにも対応している重度訪問介護

グループホームは、原則外部からの介護サービスを認めていませんが、重度の障害者に対する介護については特例として外部介護サービス(この中に重度訪問介護が含まれます)を認めています。これは経過措置として平成19年4月から開始され、3年ごとに延長されてきました。今回も全国の障害者団体の要望により平成30年3月31日までだったものが平成33年3月31日まで延期されました。グループホームにおいて重度の障害者にとって外部介護サービスは必要不可欠です。経過措置ではなく恒久的な支援体制にならなければ安心して暮らしていけません。各団体と共に声を上げていきましょう。

【対象者】(1)障害支援区分4以上、かつ、重度訪問介護、同行援護又は行動援護の対象者  
 (2)障害支援区分4以上、かつ、次の①及び②の要件をいずれも満たす者  
 ①グループホームの個別支援計画に居住介護の利用が位置づけられていること。  
 ②グループホームの居宅介護の利用について市町村が必要と認めること。  
 【利用可能なサービス】上記(1)の対象者：居宅介護又は重度訪問介護  
 上記(2)の対象者：居宅介護(身体介護に係るものに限る。)

# ★シエアハウスで暮らす(障害者差別解消法(当事者から))

みなさん、はじめまして。神奈川県川崎市に住む立石芳樹と申します。ロンドにはGDPへの通所というかたちでかかっています。

僕は現在、川崎市宮前区にあるシエアハウスで生活しています。シエアハウスではいろいろな障害をもった方々が共同で暮らしていて、年齢層もさまざまです。一日の生活リズムも人によって違っていて、それぞれに合わせた介護計画を立て、シエアハウスのスタッフで足りない部分は外部のヘルパーに委託して必要な介護をまかっています。

僕の場合、だいたい朝7時半に起床し、8時には朝食を摂ります。布団から車椅子に移る時は天井走行式のリフトを使っています。朝食が終わったらリビングで朝刊を読み、訪問ナースさんや入浴サービスを待ちます。昼食後はしばらく仕事に集中して、3時になったら休憩をかねて水分補給をします。ス

タッフさんとのんびりお茶を飲みながら、最近楽しかったことやこれからやってみたいことを話すのが一日の楽しみです。

おやつのはあと5時半の夕食までまた仕事に集中して、夕食後は好きなDVDを観たりして過ごします。これは外出の予定がない日のスケジュールで、出かける予定がある日はタイムスケジュールが前後します。シエアハウスはひとり出かけ



### 立石さんプロフィール

1988年、神奈川県生まれ。生まれてすぐに脳性マヒ(CP)と診断される。中学校の頃から本格的に創作活動を始める。専門はショートショート。趣味は読書と将棋。座右の銘は「一日一笑」。

することも自由で、僕は天気が良い日はなるべく外に出るようになっていきました。とくに好きなのは二子玉川まで映画に行くことで、バスや電車に乗ることにもだいたい慣れかけてきました。運転手さんのほうも対応の仕方がわかかってきたようで、最近はおまじ時間をおかけずに乗ることができるようになりました。電車はいつも電車が谷駅から乗るのですが、ある時顔見知りの駅員さんから「今日も

二子玉川ですか？」と声をかけられた時にはうれしくなりました。これはほんの一例ですが、こうしたマンツーマンのふれあいこそが本当の意味での差別解消なのではないでしょうか。差別解消法、というと何だか堅苦しく感じられますが、あまり難しく考えず、まずはひとりひとりのマンパワーを信じていることから始めたいと僕は強く思うのです。

(立石芳樹)

